

表 本書のケースの特徴と主な支援方法 … 4

ブローグ 認知行動療法は心がない？ … 5

第1章 子どものかかわりに活かす認知行動療法

1 認知行動療法の事象のとらえ方 … 12

2 適応的な行動を引き出す「環境」づくり … 20

3 「環境が変わると行動が変わる」を見立てに活用 … 28

4 認知の変容は「目標」ではなく適応促進の「手段」 … 37

5 もともと持っている行動レパートリーの「機能」を活かす … 45

6 不適応行動は「別の行動」に置き換える … 54

7 いわゆる「生徒指導」に認知行動療法を用いる … 62

8 認知行動療法のケース整理の視点 … 69

9 不安な気持ちを乗り越える エクスポーチャー … 77

10 子どもの認知の変容を試みる … 84

- 11 問題解決訓練で「答えの出し方」を教える … 93
- 12 児童生徒の理解にモニタリング記録を活用する … 102

第2章 「チーム学校」に活かす認知行動療法

- 1 「チーム」づくりと認知行動療法 … 110
- 2 学校内の行動コンサルテーション … 118
- 3 相談室活用の素地づくり … 125
- 4 保護者と学校の関係性への支援 … 134
- 5 学校の中で心理専門職の専門性を発揮する … 141
- 6 学校の「ニーズ」にどのように応えるのか … 149
- 7 さまざまな学校行事等を適応支援に活用する … 157
- エピソード 学校で機能する認知行動療法とは … 164

あとがき … 174